

礦産稅町村交付運動

野木村長の上京

野木村長は先般湯本勿來好間磐崎の各町村長と出京して全國關係町村長十五名と共に、礦業稅中礦産稅全額を、關係町村に交付する事を、政府案として今議會に提出する事を交渉したが、應じなかつたので、民政

政友兩黨の了解を得、大里坂井兩代議士外二百二十六名の賛同を得て提案する事に決定し、貴族院方面の諒解をも得て歸村した。十分通過の見込みあり、七年度より實施せらるゝであらうといふ報告であつた。

御殿方面

内郷共濟會概況

四百八十三名入會

御殿方面に於ては、二月一日夜俱樂部に委員及社宅世話役の集合を開き、猪狩賛助員の挨拶、大内副會長の共濟事業に關する講話があつて、運動方法の協議に移り、當方面の委員及賛助員の署名したる宮澤方面と同様の印刷物を各戸に配付する事に決定し、社宅世話役はこれを引受けて散會し、同月二十二日の公休には午前八時半を期して、募集を開始したるに、僅かに三時間にして、四百八十三名の會員を得、會費として米四石七斗二升、金十一圓七十四錢を領收し、直ちに整理精進して、米は一石十七

果結の面方殿御會濟共



榊田憲大郎 井上政秋 鈴木二一

若松清三 圓谷兼吉
堀井庄平 社宅世話役
稻葉仁三 中塚源八
島崎義英 鹿又義友
國安哲也 千葉丈右門
秋葉峰治
青年團員
笹原與市 佐藤百郎
菊地唯晴 熊谷春治
佐藤正雄 佐藤政見

榊田憲大郎 井上政秋
鈴木二一
副會長 大内 民惠
宮澤方 蘇武 彌八
面委員 尚四家副會長の責任區高坂方面は、舊年末年始其他の事故により、延引して居つたが、準備全く成り來る九日よ／＼着手する事になり、委細は次號に報告。

村會招集

二月二十七、八兩日涉り村會を開き、村稅賦課率、六年度歳出入豫算、一時借入金、村基本金預入銀行、學務委員、木十委員、寄附採納、小學校敷地買收、五年度歳出更正豫算、五年度事務報告、村會議員辭任、委員辭任、四年度歳出入決算認定、高坂、内町兩小學校區域變更、諮問等十數件の議決決定報告等があつた。而して石

榊田憲大郎 井上政秋
鈴木二一
副會長 大内 民惠
宮澤方 蘇武 彌八
面委員 尚四家副會長の責任區高坂方面は、舊年末年始其他の事故により、延引して居つたが、準備全く成り來る九日よ／＼着手する事になり、委細は次號に報告。

本年の卒業生

第一小學校 (御殿) 男、二七 女、三一
第二小學校 (内町) 男、八六 女、八三
第三小學校 (宮) 男、九三 女、一〇五
高等小學校 (高坂)

尋常科

男、八三 女、六八
高等科
男、一八五 女、一四一
工業公民學校 一二
裁縫女學校
本科
研究科修了 三四
別科修了 一九
磐城中學校 二〇
同高等女學校 一四
平商業學校 一三
藤田女學校 一五
平陽女學校 一二

教育制度改革概論

矢野恒太 序大内民惠著
服部宇之吉 内郷村報社
發行所 日本評論社
取次所 内郷村報社
(定價五十錢 郵便四錢)

青年講座

二月四日高坂校に於て、社會教育主事坂田長吉氏の經濟難局の打開に關する有益なる講演があつた。
本紙贊助金寄贈芳名
一金貳圓 福島小林 富吉
一金壹圓 水戸杉山 一
一金五拾錢 東京山内 一
一金五拾錢 新潟川田 勇

山總親和の發露 磐炭民謠演藝大會

百五十余名出演

過去一ケ年間新採用なく、減員の儘で總努力した結果、出炭能率の上にも、相當の成績をあげて居る磐炭に於ては、一面其總親和ぶりを見せて、一日を大に遊樂氣分にひたらうといふ相談が持上り、内郷高坂綴の三方面より擧げられた二十七名の準備委員の苦心と、出演者の熱心とによる、其民謠演藝大會は本日午前八時より昭和館に開會。會衆無慮一千五百、先磐炭樂隊の伴奏で全員礦山歌合唱、濱崎課長より親和そのもの、如き態度で、齒切れよき開會の辭があつて幕を開かれた。全國より集まれる四千五百の従業員中より、選手として選び出された百五十余名の、あらゆる民謠、あらゆる演藝は、あらゆる樂器によつて伴奏せられ、五十數番の番組は四時の定刻までそれこそ息つく暇もなく上演せられ、演者の赤熱、觀者の白熱、折々おこる失敗も、あばたもよくばて、却つて愛嬌となつて打興するといふ有様、滿場實に陶然

今日は待ちに待ちたる磐炭民謠演藝大會の日であり、我々がこの意義深き大會を催したる動機としては従業員諸君が終日終夜汗を流して骨身をなやませ、朝の六時からカンテラを提げて實に感奮すべき偉大な仕事を遂げて居る諸君が懸命の努力に云ふものに對しては必ずやそこにそれが力と成り、其に光を與ふる何物かがなければならぬ筈であり、今日の如き金山總親和の大結晶たる此演藝大會は期せずして此精神が凝り集まつたものと見て差支ないと思ひます。

諸君！明るく朗らかに笑ひ得る人生は幸福であり、此意義深き大會の催しは實に金山に輝く幸福を與へ、總親和の事實を示し、屈ひなきに涙ぐましい人間味を大に後目をして居るのであります。

諸君は、今日擧つて此催しに白熱的に大賛成せられ、今將に大會の幕は切つて落し、今日に居ます。實に今日一日は大に唄い愉快に踊り、金山もゆるがばかりの興を盡されんことを熱望して止みません。

故淺野社長記念事業建設資金募集の經過

淺野翁が亡くなられてより烏兎勿々早や四ヶ月になん／＼としてゐます。御逝去當時我社の従業員が香奠を差上ぐる代りに故社長の記念事業を起したいといふ念願から労働者役付會議の決議となり昨年十二月十日頃から従業員自身の手で資金募集に取か、りました。此の企は豫想外の人氣を呼び今日迄に集つた金は、

労働者方面	四、一六七名	二、二四四圓三五錢	職員方面	三六〇名	一、〇〇〇圓
社外方面	五一三名	六九八圓五〇錢	計	五、〇四〇名	三、八二二圓八五錢

にのほりました。特に私共が嬉しく思ひます。これは社内従業員に此の企あることを社外の人達が聞き及ばれ、「そんな企があるなら自分達にも金を出させて呉れ」といふやうな熱烈な御賛助を得たことである見込であります。最初記念碑でもいふ念願から出發したものがだん／＼油がのつて丁度雪隠をこるがやうに小さきは御一名拾錢から多きは百圓に至るまでみな氣持よく寄附していただいた金は、つりつめて今日までに三千八百二十二圓八拾五錢といふ莫大な額に上りました。これは偏に故社長の徳が如何に人心に喰ひ入つてゐるかかの證據であり、誠に有難いことと感激に堪へないなる次第であります。此分では記念碑どころでなくとも、立派な有意義な記念事業が出来らるわけでありまして、定に御同慶の至りに堪へませぬ。後暫く此募集は締切らるるわけになつて取り敢へず發起人に代り私から大方の各位に經過の御報告を兼ね御禮を申上ぐる次第であります。

昭和六年二月廿八日
磐炭炭礦礦業所
勞務課長 濱崎善三郎

和會全く成る

總親和總努力生活改善を目的として、先年終坑に於て組織せられた親和會の例に倣へ、石橋山崎猪狩井上の諸氏をはじめ勞務課員一同及従業員有力家の斡旋によつて、金山に其組織を見よつて、四面掲載の役員によつて、之が運用實行を期する事になつた。

修養團 早起向上會二月例會は八日集會所に開催。猪狩幹事の日立礦山修養團の概況報告並に大内幹事の修養團精神と社會事業の關係の講話等あつた。

伊藤南州 氏講演會は二月八日昭和館

伊藤南州 氏講演會は二月八日昭和館に開催。赤穂及淺野總一郎傳の二席と高坂従業員の喜劇園定お蝶の素人劇があつて滿場空席なき盛況。

役付聯合會 二月八日例會を開催

濱崎課長より歸省不在中突發したる高坂坑變災に對して役付諸氏の善處したる事を感謝され民謠大會開催の件故社長記念寄附概況其他数件の報告あり晝餐後散會した。

功勞表彰 高坂坑變災に際し功勞顯著

たりし首藤吉助、茅根市太郎、兩氏は個人として、井上清一氏は山中友子一同代表、高橋宇助氏は青年會高坂支部を代表してそれ／＼礦業所より表彰を受けた。

大友寅吉 氏は二月廿一日より翌日に

かけ村側會社側近親の三回に分けて百五十人を招待する祝の宴を張つた。村側では野木村長祝辭を述べ、會社側では記者が論語の四十句を引きて祝辭を呈し、即吟「恐はざる年を龍に干歳山、虎の如くにこゝろ我友を披講して御免を蒙り、宮籬曲會の重鎮御代氏朝々高砂を誦ひ石橋上原新谷猪狩後藤の諸氏と鶴龜を合唱し、満座を陶酔させ、次の役目を紅裙連にゆづり、一同心から同氏の爲に祝盃を擧げた。

